

一部：レクチャー
『ジェンダー目線の広告観察』レクチャー

ゲスト講師：小林美香さん

レクチャー

トーク・イベント

トーク聞き手

堀井ヒロツグさん(写真家)
山崎 恭子(演出家/研究代表)

二部：トーク
『ジェンダー・クィア』ってどんな本？



8月24日(土)

無料
要予約

【一部】レクチャー：13:30～15:30 【二部】トーク：17:00～18:30

会場 PURPLE ブックスペース (京都市中京区式阿弥町 122-1 式阿弥町ビル 3階)

【ゲスト講師】写真・ジェンダー表現研究 小林美香さん (こばやしみか)

【トーク聞き手】写真家 堀井ヒロツグさん (ほりいひろつぐ) || 演出家 研究代表 山崎 恭子 (やまざききょうこ)

【主催】京都芸術大学舞台芸術研究センター 舞台芸術作品の創造・受容のための領域横断的・実践的研究拠点
2024年度リサーチ支援型プロジェクト「支配的なイデオロギーへの対抗の場としての身体：ジェンダー・セクシュアリティの視点からの新たな文法創出」研究代表 山崎恭子

『 支配的なイデオロギーへの対抗の場としての身体： ジェンダー・セクシュアリティの視点からの新たな文法創出 』

関連企画：レクチャー vol.01 / ゲスト講師：小林 美香さん

京都芸術大学共同利用・共同研究拠点 2024 年度 リサーチ支援型プロジェクト『 支配的なイデオロギーへの対抗の場としての身体：
ジェンダー・セクシュアリティの視点からの新たな文法創出 』の関連企画として、写真研究者の小林美香さんをゲスト講師としてお招きしレクチャーとトークイベントを開催します。

8月24日

(土)

無料
要予約

予約



【一部】レクチャー：13:30～15:30

【二部】トーク：17:00～18:30

会場 PURPLE ブックスペース

(京都市中京区式阿弥町 122-1 式阿弥町ビル 3 階)

一部：『 ジェンダー目線の広告観察 』レクチャー

🕒 時間 ▶ 13:30～15:30

定員：14名 要予約

私たちの生活の至る所に出没する広告、当たり前目の前にあるが故にそこから発せられているメッセージを立ち止まって考えることはあまりないかと思えます。しかし広告は様々な構成要素を駆使して働きかけ消費行動を促すだけでなく、私たちの価値観や思考のプロセスにまで影響を及ぼす力を持っているように感じます。

「陶器のように純白でツルツルな肌が手に入れば幸せになれて、幸せなあなたが円安の時代を生き抜くためには英会話ができないといけない。それに写真に映り込んだ不要なものはこのアプリで排除できるし、これは医療脱毛してくれる〇〇歳のあなたのための広告です…。」

広告は自己嫌悪的な欲望を資本にした経済の循環システムの一部に私たちの身体を取り込み、規範を生み出していく…。どうしたらその力と対峙することができるのか？

第一部では、レクチャーを通してその答えを探します。

二部：『 ジェンダー・クィア 』ってどんな本？

🕒 時間 ▶ 17:00～18:30

定員：30名 要予約

小林美香さんが発起人となってこの夏にサウザンブックスから出版された、コミック作家 マイア・コベイブさんのグラフィックノベル『ジェンダー・クィア』について、写真家の堀井ヒロツグさんと、この企画の母体のリサーチの研究代表で演出家の山崎恭子が、出版の経緯、また本の魅力などを根掘り葉掘り何うトークイベントを行います。

*『ジェンダー・クィア』とは？(サウザンブックスHPより一部抜粋)
クィア、ノンバイナリーのコミック作家マイア・コベイブの自叙伝。自身の生い立ち。幼少期から思春期で過ごした環境、そして、青年期にかけてクィアをテーマにした音楽や漫画、ファンタジー作品と出会い、自身の性のあり方に向き合い出すことで、生まれた、気づき、葛藤、戸惑いを丁寧に描く。ひとりの人間の、ありのままの記録。

*当日はご来廊された一般のお客様がブックショップや展示スペースを利用する可能性があります。あらかじめご了承ください。



講師
小林美香さん (こばやし みか)

写真・ジェンダー表現研究。

大学や各種学校で教鞭をとるほかに、国内外の雑誌などへの寄稿や編集、翻訳などを手がける。

展覧会、ワークショップの企画や、写真で制作活動を行う人を対象としてコンサルティングを手がけている。

著書に『ジェンダー目線の広告観察』(現代書館、2023年)、『ジェンダー・クィア』(サウザンブックス 2024) などがある。

トーク 聞き手：堀井 ヒロツグさん (ほりい ひろつぐ)

写真家。静岡県生まれ。
早稲田大学芸術学校空間映像科写真専攻卒業。
最近の主な展覧会に「都美セレクション2023」東京都美術館 (2023)。
2013年に東川町国際写真祭ポートフォリオオーディションでグランプリ、2021年にIMA next でショートリスト (J・ポール・グティ美術館キュレーター：アマンド・マドックス選) を受賞。

トーク 聞き手：山崎 恭子 (やまざき きょうこ)

演出家。長野県生まれ。
京都芸術大学 大学院修士課程修了。
主な作品に、『不快なものに触れる』
THEATRE E9 KYOTO × 京都舞台芸術協会 × DIVE「Continue2022」、
豊岡演劇祭 2022 フリンジ「Showcase」採択 @ そぞろ座。
『ふるえる』YPAM 2021 フリンジプログラム @ SCOOOL
助成：公益財団法人全国税理士共栄会文化財団。
京都芸術大学共同利用・共同研究拠点 2024 年度リサーチ支援型 プロジェクト研究代表。